大阪 タイト感残る展開も各社様子見対応

（大阪）大阪地区の鉄スクラップ市況は模様眺めが続いている。需給にタイト感が残りながらも、電炉側から極端に不足しているようなことは聞かれないため、他社や東京製鉄の動向を見守る形で、様子見姿勢を維持する動きにある。10日時点の地区H2実勢値は5万2500～5万3500円見当で推移している。

価格レベルの異なりによって、電炉入荷にバラつきが生じており、需要を満たし切るような荷動きには至っていない。また、今月の電炉生産は今年最多となる24万㌧を超えてくることが見込まれており、これに合わせて、需要も先月に比べて増加している。今月下旬には3連休を控えることもあり「水面下での裏値加算の可能性も残っている」（ヤード業者筋）という。

一方、高値提示の電炉筋では入荷を計画通りに取り込めており、入荷不足のところも操業に支障をきたすような悪化には至っていない。輸出成約不振や地区相場は東京製鉄各拠点の買値をリードしていることが、電炉側にとって慎重姿勢を強めさせており、「市況の押し上げ力は着実に弱まっている」（電炉購買担当者）との指摘が聞かれる。

日本鉄リサイクル工業会中四国支部、中四国合同岡山部会を開催

（岡山）日本鉄リサイクル工業会中四国支部（支部長＝平林実平林金属社長）の岡山部会は9日、ホテルグランヴィア岡山で中四国合同岡山部会を開催した。会員ら約40名が参加した。

開会にあたり、田中久也会長（田中善昭商店社長）は「近年、生成AIをはじめとする人口知能技術は、私たちの仕事や暮らしを大きく変えつつある。実際にビジネスや日常生活でどのように活用すべきか、不安や疑問を抱く人も少なくない。今回の講演を今後の業務に生かしてほしい」とあいさつした。

続いて平林支部長が登壇。就職活動中の学生から選ばれる企業づくりにおいてAI活用の重要性が高まっていることを説明したほか、法改正に伴うリサイクル業の許認可制への対応や法改正を見据えた特別委員会の設置などについて報告した。


あいさつをする

講演会では、まずJFE商事の西日本金属リサイクル室の立田浩一室長が市況報告を行い、原料炭や鉄スクラップの最新市況について解説した。その後、EVERSTEELの田島圭二郎社長が「リサイクル産業・鉄鋼業における生成AI活用について」をテーマに講演。同社が開発･販売する「鉄ナビ検収AI」の特徴などを紹介したほか、鉄鋼製品の製鋼工程や産業廃棄物処理事業者向けにも事業展開していると説明した。

講演終了後には会場を移して懇親会を開催。参加者らは情報や意見交換を活発に行い、親睦を深めた。

近畿工業、15日にINAC神戸レオネッサのスペシャルマッチを開催

（兵庫）破砕機・選別機メーカーの近畿工業（本社＝兵庫県神戸市、和田知樹社長）は15日、同社がオフィシャルスポンサーを務める女子プロサッカーWEリーグ「INAC神戸レオネッサ」のホームゲームにて「近畿工業スペシャルマッチ」を開催する。会場はノエビアスタジアム神戸で、午後5時キックオフ。

当日は午後2時から5時まで、バックスタンド大階段正面に「近畿工業ブース」を設置する。ブースでは同社や環境問題を身近に感じられる「環境クイズ」を実施するほか、景品が当たる「ガチャガチャ」などを楽しむことができる。また、来場者先着2,500名にオリジナルグッズを配布するほか、場内の大型ビジョンで同社のCMを放映するなど、さまざまな企画で試合を盛り上げる。

イベントの詳細は以下の通り。

■日時　2026年11月15日(土) 17時キックオフ
■対戦カード　INAC神戸レオネッサ vs セレッソ大阪ヤンマーレディース
■会場　ノエビアスタジアム神戸
■詳細URL　https://inac-kobe.com/news/detail/9557



サヤミツ産業 有限会社
兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南2丁目29　TEL (079) 247−2510
FAX (079) 247−2511
ステンレス・製鋼原料・鋳造原料・アルミ・その他各種スクラップ
SAYAMITSU Inc.